

ろ舟体験参加者楽しむ

清真学園高 企画の生徒ら乗船

潮 来



清真学園高(鹿嶋市宮中、飯山克則校長)の生徒たちが企画した「ろ舟体験」のイベントが12日、潮来市の水郷あやめ園近くの前川で行われた。4グループ12人が参加し、それぞれ自らがろを操作し、「ギッチラギッチラ」という音と共に遊覧を楽しんだ。

イベントは同市の課題である「水郷潮来あやめまつり」期
清真学園高生が企画したイベントで、ろ舟の操作を体験する参加者
潮来市の前川

間外の誘客に貢献しよう
と、同高で地域の課題解決
方法を学ぶ起業情報発信ゼ
ミの生徒が企画した。

この日は生徒たちが受け
付け業務を行ったほか、体
験前には企画の意図や水運
の要所として発展した同市
の歴史、生活に根差してい
たる舟の特徴などを丁寧に
説明した。

操作方法はプロの船頭に
依頼し、会話を楽しみなが
ら、往復で約1.5きの行程を
一緒に乗船した。参加者は
ろをつなぐ綱の引っ張り具
合に注意しながら、押す引
くの動作を繰り返し、笑顔
で操作を楽しんだ。

夫婦で参加した千葉県松
戸市の横井伸幸さん(58)は
「学校のホームページを見

て参加した。社会の課題に
取り組む高校生に感心し
た」と話し、妻の雅子さん
(54)は「とても楽しかった。
高校生たちが地元を愛して
いることを感じた」と喜ん
だ。

一緒に乗船し、説明役を
担った3年の奥田湧也さん
(17)は「楽しんでいただけ
たと思う。(企画が)潮来
の活性化につながればう
れしい」と期待。別のろ舟
に乗った3年の永井千遥さ
ん(17)は「地元の話で盛り
上がるのができた。いい
経験になった」と振り返っ
た。

(小池忠臣)



清真学園 いたこべ
ネチアプロジェクト